



TOYAMA
UNIVERSITY
HOSPITAL

富山大学附属病院だより

信 頼

特集

性同一性障害の外科治療

新しい美容レーザーの導入

外来トリアージ施設・感染症病棟

医療の質推進部の取り組み

本院の入退院支援について

新任臨床検査技師長の抱負・検査・輸血細胞治療部のご紹介

食と健康「生活習慣病を予防する食事について」

読むくすり箱「院外処方箋へ検査値を載せ始めました」

看護師紹介「特定看護師」

連携病院のご案内「八尾総合病院」

季節のご挨拶

入院セットについて



富山大学附属病院
ウェブサイト



富山大学附属病院
facebook

かわら版

TOYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

Vol.

144

2022年5月発行



ジェンダーセンター設立と性同一性障害の外科治療

身体の性別に対して心の性別に違和感がある状況をトランスジェンダー、性同一性障害（GID）と呼びますが、FTM（Female to Male：身体の性が女性で、心の性が男性）、MTF（Male to Female：身体の性が男性で、心の性が女性）に大別されます。

診断ですが、まず産婦人科医もしくは泌尿器科医が、身体所見、超音波検査、染色体検査、ホルモン検査を行い身体の性別を診断します。次に2名の精神科医がそれぞれ、療育歴、性行動歴、性別違和の実態を把握し、他の疾患を除外してGIDの診断を行います。その結果を元に、ジェンダー判定会議（精神科医、産婦人科医、泌尿器科医、形成外科医、弁護士などで構成）が行われて、ご本人が望む性別に向けての治療をスタートすることができます。

治療はご本人の希望に沿って行われます。精神的サポートを受けながら、実生活経験（Real Life Experience; RLF）、ホルモン療法が行われます。手術はMTFとFTMでそれぞれ異なります。最も多い手術がFTMの方への乳房切除術で、乳腺を切除し乳頭乳輪も小さくして男性様の胸に形成します。性別適合手術は、性腺を除去して外性器を望む性別に近づけます。それ以外に、MTFの場合は乳房増大術、顔面女性化手術、のど仏を削る手術があります。性別適合手術後に戸籍上の性別変更が可能となります。

2021年10月に富山大学附属病院にジェンダーセンターが設立されました。形成再建外科・美容外科、消化器・腫瘍・総合外科、産婦人科、泌尿器科、神経精神科、小児科



ジェンダーセンター長
（形成再建外科・美容外科 診療科長）
佐武 利彦

など6つの診療科の医師、看護師、臨床心理士、その他、計23名の多職種からなるチームで、外科治療をお受けになるGIDの方をサポートさせていただいており、これまでに多くの方が無事に手術を終えられています。このほか附属病院では、定期的に教職員向けにケースカンファレンスや講演会を開催しております。ジェンダーセンターは、これからもGIDの方が安全かつ安心して治療を受けられる院内の環境づくりに努めて参ります。

性同一性障害の外科治療	
MTF (Male to Female) への手術 身体の性が男性で心の性が女性	FTM (Female to Male) への手術 身体の性が女性で心の性が男性
1. 陰茎・精巣切除術(性別適合手術)	1. 乳房切除術
2. 外陰部形成術(性別適合手術)	2. 子宮頸摘出術(性別適合手術)
3. 遠程術(性別適合手術)	3. 尿道延長術(性別適合手術)
4. 股幹女性化手術(豊胸)	4. 陰茎形成術(性別適合手術)
5. 顔面女性化手術(顔面骨切り)	5. 狭小陰茎形成術(性別適合手術)
6. 喉頭隆起切除術	
7. 音声手術	

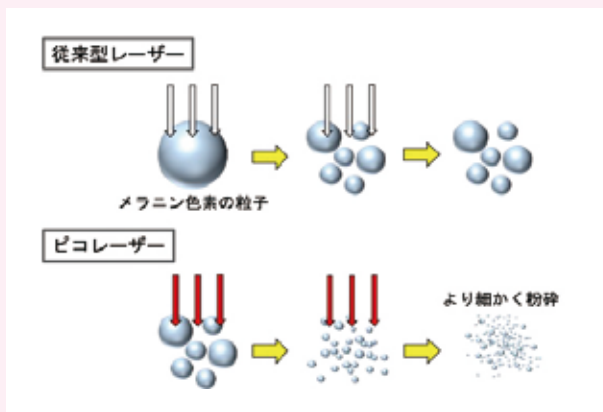


ジェンダーセンターロゴマーク

新しい美容レーザーの導入

形成再建外科・美容外科では、受診された皆様にきれいに治すことを心がけています。今回、その一環として最先端美容レーザーである**ピコレーザー** (DISCOVERY PICO PLUS) を導入しました。ピコレーザーは、北陸地方の病院においては富山大学附属病院が初めての導入です。

ピコレーザーは照射時間がピコ秒 (1兆分の1秒単位) であり、従来型のQスイッチレーザーと比較して大幅に照射時間が短縮されました。その結果、標的となるメラニン色素以外への熱損傷が少なくなりました。また、従来の光熱作用に加えて、衝撃波による光音響効果によってもメラニン色素をより細かく砕けるようになったため、これまで反応が乏しかったシミに対しても高い治療効果が期待できます。すなわち、『**低侵襲でありながら、より高い効果が期待できる**』ことがこのレーザーの特徴です。



従来型レーザーとの比較

そして、このレーザーで可能な治療は単なるシミ取りだけではありません。**ピコフラクショナルレーザー**では、ご自身の再生力によって肌質にも良い影響が期待できます。皮膚に

形成再建外科・美容外科
特命助教

葛城 遼平



ごく微細なマイクロレーザーを点状照射して、皮膚の深い層に熱ダメージを与えます。傷ついた皮膚がその傷を修復しようと細胞分裂を行うのでコラーゲンやエラスチンが増殖します。その結果として、ニキビ跡の凹み、傷跡修正や毛穴の縮小、タイトニングなどに効果が期待できます。従来の炭酸ガスレーザーによるフラクショナル治療よりも痛みが軽度で、ダウンタイムが短いことが特徴です。

ピコトニングは、低出力のレーザーを顔全体にシャワーの様に照射する治療方法で、メラニン色素を少しずつ分解、排泄してシミやくすみを薄くしていきます。定期的な治療で肝斑、くすみ、色素沈着、顔全体のシミ(そばかすなど)の改善が期待できます。

お肌のトラブルや美容に関して気になることがありましたら、形成再建外科・美容外科にお気軽にご相談ください。皆様の美をしっかりサポート致します。



ピコレーザー (DISCOVERY PICO PLUS)

外来トリアージ施設・感染症病棟

国内における新型コロナウイルス感染は、初めての感染例が発見されて以降、当初は予想できなかったほど広範囲かつ長期間に及ぶ感染流行へと拡大しました。富山県内でも第一波～第五波と度重なる流行期が訪れ、ワクチン普及から間もない2022年1月に第6波の流行拡大が起きました。流行株「オミクロン株 (B.1.1.529)」を主体とした感染拡大は過去最大級の流行となり、富山県内では第1～5波の約5倍となる、2万5千人の感染者が発生。重症者は、第4～5波と比較し少数ではありましたが、高齢者を中心として死者数も第1～5波と同等数が報告されることとなりました。(2022年4月中旬時点)

ここまでを振り返り、同ウイルス感染についてはワクチン接種による流行抑制に加え、継続的・効率的な感染対策、すなわち「いかに新型コロナウイルスにかからないよう日常生活・日常診療を行うか」が重要と感じます。

当院では、2021年12月より新型コロナウイルスをはじめとする感染症患者を診療するための外来トリアージ棟、感染症病床を新たに整備し、運営を開始しました。

新型コロナウイルス感染の疑いがある患者様の検査と診察は、一般患者様や医療従事

総合感染症センター
(准教授)
長岡 健太郎



者とは完全に異なる動線で行うことが必要となります。これまでプレハブで行っていた同診療を、今後も持続的に行うべく外来トリアージ棟が建設されました。広く設計された待合スペースは、自然災害や大規模事故の発生時に治療の優先度を定める「トリアージ」を行うことも想定しております。

感染症病床は、独立した換気系、前室が設置されており、「通常診療」と「新型コロナウイルス診療」を効率的に両立させるための特別仕様が施された病室となります。同病床では、人工透析、人工呼吸器などの医療機器も使用でき、第6波においても多数の透析患者様の診療が行われました。

今後も、当院では富山県の新型コロナウイルス感染、さらなる新興感染症についても、持続的に高水準・高度医療を提供できるよう取り組んでまいります。富山県民の皆様のご理解とご協力について、引き続きよろしく願います。



図1. 感染症病床



図2. 外来トリアージ施設写真

医療の質推進部の取り組み

医療は日々進化し、医療を取り巻く環境も絶えず変化しています。私たち医療従事者は、患者さんが理想とする病院を目指して、自分たちが提供している医療を常に見直し、医療の質を向上していく必要があります。当院では、2021年6月に「医療の質推進部」が設立され、患者さんに安心して受診していただくために、医療の質向上のための活動に継続的に取り組んでいます。

医療の質は、一般的には(1)構造(Structure)、(2)過程(Process)、(3)結果(Outcome)の枠組みで評価されます。「構造」とは施設、医療機器、医療スタッフの種類や数などであり、「過程」とは実際に行われた診療行為や看護ケアなど、「結果」とは行った診療や看護ケアの結果としての患者の状態すなわち治療成績を指します。

「医療の質推進部」では、過程や結果のなかに潜在している課題を見つけ出し、改善活動を推進することで、医療の質の継続的な向上に役立てる多岐にわたる取り組みを行っています。

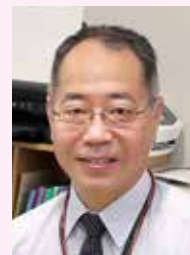
「医療の質推進部」で行っている具体的な取り組みは、以下の通りです。

- 1) 様々な院内の部署を巡回し、現状での問題点や改善のための手法を検討する「医療の質ラウンド」を毎月行っています。
- 2) 医療の質指標：病院が提供する医療の質を把握し向上させるための取り組みの一環として、医療の質を示す指標(Quality Indicator)の管理と活用に関わっています。
- 3) 患者さんやご家族への病状説明に用いる説明・同意書が、必要な事項を網羅す



医療の質推進部
副部長

小池 勤



医療の質推進部
部長

長島 久

るとともにわかりやすく作成されているかの確認をしています。

- 4) 患者さんやご家族をはじめとする第三者にも判読できるような診療録の作成のために、診療録記載マニュアルの改定を行っています。
- 5) 病院全体の質向上に不可欠となる職員の意欲を高めるために、職員満足度調査を行い、改善へとつなげています。
- 6) その他にも、院内の業務の改善や医療の標準化、継続的な質改善活動(自己評価や内部監査)に関する取り組みを行っています。

私ども富山大学附属病院の職員は、患者さんに良質な医療を継続的にご提供することを常に考えながら、医療の質の向上に努めております。

当院の入退院支援室での取り組みについて

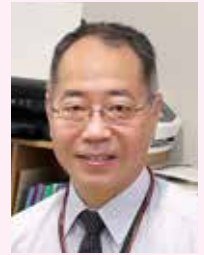
富山大学附属病院の医療福祉サポートセンターには、地域連携部門や相談・苦情対応部門と並んで、患者さんに安心して医療を受けていただくために入院前から退院後までを専門の職員が支援する、入退院支援室が設置されています。

入退院支援の一つの柱である入院前支援は、入院予約となった患者さんに対して、入院に必要な持ち物や限度額適用認定証等について事務職員がまずご説明して、引き続いて、入院生活に関するご案内や普段の生活状況の聴取などを看護師が行い、その後は、必要に応じて管理栄養士や薬剤師、社会福祉士から病棟の退院支援担当看護師へと切れ目なく繋げることで、患者さんの退院後の生活を見据えた支援を入院前から継続的に行う仕組みです。独立した部門として入院にかかわる様々な手続きを統合的に扱うため、多くの説明を一度に受けることを不安に感じる患者さんや、入院決定日には十分な時間が取れない患者さんなどに対しては、入院前の麻酔科や周術期口腔管理のための診察などに合わせて、日を改めて説明を受けていただくなどの柔軟な対応も可能です。

もう一つの柱である退院支援については、当院は富山県で唯一の特定機能病院として高度な医療を行う役割を地域の中で担っているため、当院での治療がひと段落しても、自宅に直接帰ることは難しい患者さんも少なくありません。そのような場合には、地域連携の仕組みを活用して、患者さんごとに必要な治療や介護の状況に応じて適切な病院をご案内しています。特に、当院との間に連携に



医療福祉サポートセンター
副センター長
市川 美幸



医療福祉サポートセンター
センター長
長島 久

ついでに協定を結び、定期的な情報交換や人材交流を行っている「医療連携協定病院」が富山県内に8病院あり、患者さんのスムーズな紹介や受け入れと、医療スタッフの交流などを通じた質の向上に取り組んでいます。これらの病院との間では、転院先病院の入院前説明を当院入院中に行ったり、転院前に転院先病院のスタッフに訪問いただいたりするだけでなく、転院後も情報共有を続けることでその後の連携に役立てるなど、患者さんの円滑で安心な転院に向けた取り組みを行っています。また、自宅に退院される患者さんの場合には、医療や福祉のサービスなどを調整するとともに、地域の医療機関やケアマネジャー、訪問看護と連携することで、在宅療養に円滑に移行するための支援をしています。患者さんやご家族の退院や転院等に関する悩みなどに対しても、担当のスタッフが親身になって対応しておりますので、お気軽にお声掛けください。

新任臨床検査技師長の抱負・検査・輸血細胞治療部のご紹介

本年 4 月より検査・輸血細胞治療部 臨床検査技師長に就任しました横田綾です。当部は、医師 3 名、臨床検査技師 43 名、看護師 3 名、事務員 1 名で「安全・正確・迅速」な検査のために、日々広範な業務を行っています。2008 年には国際規格「ISO15189 臨床検査室 - 品質と能力に関する特定要求事項 -」の認定を全国で 38 番目、国立大学附属病院としては 7 番目に取得し、これは当部の、検体採取から結果報告までを正しく行うためのマネジメントシステムと正しい検査結果を出す技術や能力が、国際的な基準を満たしていることを意味しています。

当部は検体検査（生化学・免疫、血液・凝固、尿・一般）、輸血細胞治療、細菌検査、遺伝子・先進医療支援、生理機能検査の各部門から成り、緊急検査項目については 24 時間体制で提供しています。検体検査部門では、疾患の診断や治療、経過観察などに必要な検査項目を測定しています。昨年、統合臨床検査システムを 9 年ぶりに更新し、測定時間の短縮だけでなく、より多彩な検査項目の測定が可能になりました。輸血細胞治療部門は、血液製剤の管理や造血幹細胞



検査・輸血細胞治療部
臨床検査技師長
横田 綾

移植に関わる診療支援など、輸血管理と検査の一元管理を行っています。また、第三者による輸血機能評価認定を 2003 年に取得し、輸血用血液や分画製剤の適正使用と、より安全な輸血管理に努めています。細菌検査部門と遺伝子・先進医療支援部門は、お互い協力し、生体から採取した血液・鼻汁・便などの試料を用いて感染症検査を行っています。さらに、新たな検査法の開発にも取り組み、医学の発展に努めています。生理機能検査部門は、心電図、肺機能、脳波、血圧脈波、新生児聴覚、睡眠時無呼吸検査に加え、超音波検査（心臓、消化器、乳腺、甲状腺、頸動脈、下肢静脈など）を実施しています。

私たちは中央診療施設の一つとして、患者様がより良い治療を受けられますよう継続した業務改善を進め、「安全・正確・迅速」な検査の実施に努めて参ります。



ISO 認定証



I&A 認定証



生活習慣病を予防する食事について 栄養管理室 室長 甲村 亮二

生活習慣病とは、その名の通り、生活習慣が原因で発症する疾患のことです。偏った食事、運動不足、喫煙、過度の飲酒、過度のストレスなど、好ましくない習慣や環境が積み重なると発症のリスクが高くなります。

生活習慣病を予防する食生活のポイント

富山県民の健康課題・現状

- 富山県は、生活習慣病による死亡率が高く、またメタボリックシンドローム該当者が多い。
メタボ該当者の割合 17.4% (全国 10 位)
- 富山県民は野菜摂取量が少ない
1日当たりの摂取量 280g (目標量 350g)
- 富山県民は食塩摂取量が多い
1日当たり男性 11.0g (目標 7.5g) 女性 9.1g(目標 6.5g)



1. 主食・主菜・副菜をそろえて バランスよく



2. 野菜をたっぷり 食べましょう

1日350g以上摂ることで、生活習慣病の予防につながります。



3. 塩分ひかえ目に

おいしく減塩の工夫をしましょう。加工食品は塩分高めなので注意しましょう。



4. 朝ごはんを しっかり食べましょう

朝食を食べると体温が上がり、代謝の良い身体になります。



5. よい油をほどほどに

良質の油は、血液をサラサラにします。摂りすぎに注意しましょう。



読む
くすり箱

院外処方箋へ検査値を載せ始めました

薬剤部 橋本 美紀恵

令和 4 年 1 月から、院外処方箋に検査値、身長・体重などの身体情報と QR コードの印字を始めました。この取り組みは、病院と保険薬局で情報を共有してより安全にお薬を使用するために行っています。検査値は、腎機能・肝機能の確認と副作用の確認ができます。お薬によっては、腎臓の機能が弱っているとお薬が体に溜まり、効き過ぎて副作用が出てしまうのでお薬の量を減らす必要があります。



検査値でお薬の量や副作用を確認します

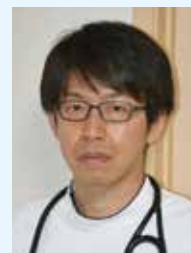
新たな情報	目的
検査値	腎機能・肝機能、副作用の確認
身長・体重	お薬の量の確認
QR コード	処方箋内容の正確な把握

今までずっと大丈夫だったから、今回も大丈夫というわけにもいかず、体の機能は変化していきます。そのため、病院では定期的な血液検査により確認していますが、保険薬局でもお薬と照らし合わせて確認してもらいます。

お薬を安全に使用するために、かかりつけ薬局でお薬と一緒に検査値も確認してもらいましょう。

特定看護師

特定看護師とは、厚労省の指定研修機関で特定行為研修と呼ばれる研修を修了した看護師のことをいいます。また、特定行為とは 38 に分類された医行為のことを指し、特定行為研修を終えた看護師は、これまで医師の担ってきた医行為の一部を医師の指示のもとに行えるようになります。このような制度ができた背景には、急速に高齢者人口の割合が増し、医療を必要とする人も増える中で、看護師が医行為の一部を担うことにより適切なタイミングで医療提供を行うという目的があります。



特定看護師
佐藤 慎哉

◆活動紹介

当院では、特定看護師が 11 名在籍しており（2022 年 3 月時点）、先に述べた 38 の医行為の内、16 の医行為（=特定行為）を提供しています。例えば、ICU（集中治療室）などでは、気管チューブと呼ばれる気道を確保するための管の位置を調整したり、人工呼吸器の設定や鎮静薬の調整を行っています。また、カテコラミンと呼ばれる血圧をコントロールする薬剤の調整も行っています。他にも、動脈に管を挿入する処置を行ったり、褥瘡（床ずれ）や創部の壊死組織の除去や陰圧閉鎖療法という創部の治療も行っています。

私は、当院で一番初めに特定看護師となり現在 4 年目を迎えます。特定看護師が他の看護師と違う点は、治療の一部を担う点にあります。特定行為は医師の一定の指示の下、特定看護師自身が器械の設定や薬剤の調整、処置を実際に行うものです。そのため、病態に対する判断力や処置等に関する高い技術が求められます。私自身、日々の業務の中でまだまだ研鑽が必要であることを痛感しております。今後も努力を重ね、少しでも患者さんのお役に立てればと考えております。特定看護師の活動にご理解・ご協力をお願い致します。

当院で提供できる特定行為（計 16 行為）

- ※人工呼吸に関する 5 つの行為
例) 人工呼吸器の設定や鎮静薬の調整など
- ※循環の調節に関する 5 つの行為
例) 血圧や尿量に関わる薬剤の調整など
- ※動脈穿刺に関する 2 つの行為
例) 動脈へのカニューレ（点滴針）の挿入など
- ※点滴や栄養に関する 2 つの行為
例) 脱水時の点滴の実施など
- ※創傷に関する 2 つの行為
例) 床ずれによる壊死組織の除去など



動脈ライン挿入時の様子



厚労省による特定行為のポスター

八尾総合病院は、入院医療・在宅医療・リハビリなどの機能を有し、地域医療を総合的に支える病院です。密な連携のもと、地域の皆さまに寄り添う医療・介護・福祉を目指します。


 医療法人 社団
藤聖会 八尾総合病院

富山市八尾町は富山市南西部に位置し、飛騨から富山に延びる八つの尾根が合流することから八尾と由来されたとされ、町域の8割が山地、古い町並みが今でも残り「坂の町」「おわら風の盆」で親しまれています。

当院は、八尾地域・山田・旧大沢野等の富山市南部を主な診療圏とした地域の病院です。

外来診療科は、内科（内科一般、内分泌内科、循環器内科）、整形外科、小児科、眼科、皮膚科、健診科、歯科があり、病床は地域包括ケア病棟（45床）を有しています。

急性期治療後の在宅復帰を目指した医療を担い、「富山西総合病院」「富山西リハビリテーション病院」「チューリップ長江病院」「富山駅前ひまわり病院」と連携しながら患者様の状態に合わせた医療の提供を行っています。また、在宅や介護施設などで生活を送っている患者様の急性疾患や症状増悪に対し受け入れを行い、入院前の日常生活に戻れるように、在宅復帰に向けた医療の提供を行っています。

併設の事業所には、介護老人保健施設「風の庭」、通所リハビリテーションセンター、訪問看護ステーション「まめなけ」や八尾居宅介護事業所、サービス付き高齢者向け住宅「サウスガーデン八尾」があります。

「Good Neighbors」「Good Hospitality」

「良き隣人でありたい」「最適なホスピタリティーを提供したい」の理念のもと、「治し支える医療」「寄り添う医療」の提供を行い、地域のクリニックや介護事業所とも連携しながら、地域の中での生活・治療後の患者様やご家族の置かれた状況をトータル的に考え、お一人おひとりにあった、介護サービスなど切れ目なく提供できる体制を整えています。

2017年に富山大学附属病院と富山医療連携を創設し、病状に応じ、適切に医療の提供ができるよう患者様の相互の紹介、連携協定会議、地域連携webセミナーなど緊密に連携をしています。

今後も、地域の病院としてみなさまに安心して医療を受けていただける体制、地域の皆さまに寄り添う医療・介護・福祉の充実に尽力いたします。



[病院名] 八尾総合病院
[理事長] 藤井 久丈
[院長] 安川 透
[休診日] 日曜日・祝日

[所在地] 富山県富山市八尾町福島7-42
TEL.076-454-5000 FAX.076-455-3835
[診療科] 内科、代謝・内分泌内科、循環器内科、消化器内科、小児科、整形外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、歯科
[病床] 療養病床（地域包括ケア病棟入院料1）45床



長引くコロナ禍ですが・・・

病院長 林 篤志

皆さま こんにちは

2年以上続くコロナ禍で皆さまも大変お疲れになっていることと思います。当院の医療従事者には、一般の方よりも厳しい行動制限を設け、それをずっと守りながら、皆さまへの医療を停滞させることなく続けています。また、院内では、ご家族の面会制限、入院患者さんの外出制限など大変

にご不便をおかけしていますが、皆さまにご協力をいただき、大変に感謝しています。

5月から60歳以上の方、また重症化しやすい方へ4回目のワクチン接種が始まります。病院という特殊な環境下では患者さんの命を守ることが最優先であり、高齢者の方だけでなく、若い方も含め、皆さまにワクチン接種を受けていただきたいと希望しています。どうぞよろしくごお願い申し上げます。



信頼される病院を目指して

副病院長 丸池 小百合

若葉の緑が輝き、さわやかな季節となりました。初めまして、副病院長を務めさせていただいております丸池と申します。私が所属する看護部では、希望に満ちあふれた43名の新人を迎えました。1か月が経過し、新人は看護師としての自覚は芽生え、やりがいを感じる一方で、経験のない技

術に不安を感じている頃だと思えます。看護の本質は、人との関わりです。新人には、患者様との関わりを大切に、相手の考えや思いに心を傾けることのできる看護師に成長してほしいと思っています。富山大学附属病院を選んでよかったと思っただけのよう信頼される病院をめざして職員一同、力を合わせていきたいと思えます。今後ともよろしくごお願いいたします。



編集後記

5月になり日中は暖かく過ごしやすくなりましたが、朝晩はまだまだ冷え込む日が多いので体調には注意が必要です。早いものでコロナ禍の生活も2年以上が経ちました。マスクを着用した顔が日常生活で当たり前となり、職場などでも新入職員の方は周りの職員の方の顔を覚え

る機会が少なく、名前と顔が一致せず苦勞することもあるのではないのでしょうか。

コロナ禍での生活はまだしばらく続きそうですが、いつかまたマスクを外して会話できる日を心待ちにして、この困難をみんなで乗り切りたいと切に思います。

広報委員 横山 公輝

入院セットのご案内

富山大学附属病院では、入院患者様に対して、入院セットのご利用を推奨しています。

入院セットとは、入院生活に必要な衣類・タオル類・日用品・紙オムツ類を日額定額制のレンタルでご利用いただけるサービスです。

本院でご入院される際は、ご家族の負担軽減や、入院生活に必要な日用品をご利用いただける入院セットのご利用をご検討ください。



清潔な衣類を
提供します



ご利用しやすい
日額制です

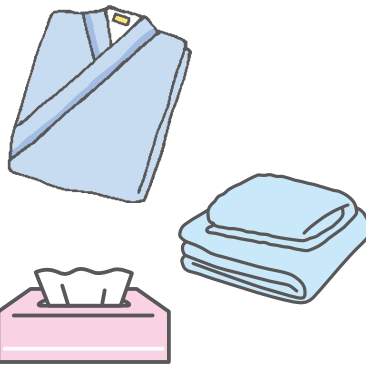


大きな荷物を
持ち込む必要が
ございません

入院セット 日額280円(税抜254.55円)

【レンタル品(洗濯付き)】

- ・衣類 (使用目安: 週2~3枚)
病衣(ガウンまたは甚平)
リハビリ着
介護つなぎ
術衣



- ・タオル類
バスタオル (使用目安: 週2~3枚)
フェイスタオル (使用目安: 1日1枚)

- ・日用品
ティッシュ

※その他オプションサービスをご用意しております。

詳細については「入院セット・紙オムツセットご案内」をご参照ください。
<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/guide/hospitalize/images/leaflet.pdf>



【入院セット受付窓口】

受付場所: 富山大学附属病院 病院正面玄関左側(10番窓口付近)

受付時間: 月曜~金曜日(土日・祝日を除く) 9時30分~16時

